

さがみはら生物多様性ネットワークは、生物多様性を将来にわたり保全するための取組を実施し、人と自然が共生する社会の実現を目指しています。生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。地球上の生きものは全て直接また間接的に支えあって生きています。

さがみはら生物多様性 ネットワーク ニュース

発行 さがみはら生物多様性ネットワーク



さがみはら生物多様性ネットワーク 会員交流会を行いました

令和元年12月25日(水)に会員交流会を行いました。今回は団体会員である「NPO法人相模原こもれび」の活動地である木もれびの森を訪れました。木もれびの森は市街地の近くにありながら豊かな自然環境を保っており、相模原の緑の拠点として重要な位置づけがされています。

会員交流会では、木の伐採等の林内整備の見学や、林内整備体験としてカントリーヘッジづくり体験を行いました。カントリーヘッジとは、森の中の木や枝や幹を並べておいておくことで、昆虫や小動物のすみかになるかもしれません。また、カントリーヘッジは自然のもので出来ていますので、微生物などにより徐々に分解され、いずれは土にかえります。これも生物多様性につながるといえるでしょう。



その後、木もれびの森の「アズマネザサ」という植物を使用し、フィンランドの伝統装飾品である「ヒンメリ」づくりを行いました。参加者は、団体の皆さまに作り方を教えていただきながら、夢中でヒンメリをつかっていました。森の植物を活用したヒンメリづくりは、とてもよい記念になったことと思います。



会員活動紹介

団体会員 NPO法人相模原こもれび

木もれびの森の保全活動として、間伐、枯損木の伐採、草刈りや落ち葉かき、自生する植物を保護する活動や植生調査などを行うとともに、植樹による森の若返りに取り組んでいます。

また、子ども達をはじめ多くの人々に自然保護の大切さを知ってもらうための啓発活動として、近隣の小中学校の学習への協力や、イベントを開催するなど、様々な取り組みを行っています。



樹木の伐採



植樹



小中学校の学習への協力

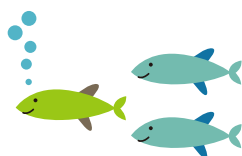


自然観察会

木もれびの森は、コナラ、クヌギなどの雑木林が連なる、首都圏では貴重な存在であり、相模原市のみどりの拠点として重要な役割を持っています。これは、野生の動植物にとってもかけがえのない緑地となっています。また、「かながわの美林50選」にも選ばれています。

会員募集中!! 入会随時

さがみはら生物多様性ネットワークに入会して、生物多様性の保全と一緒に取り組みませんか。ネットワークの趣旨に賛同する個人・団体・事業者で活動に積極的に参加していただける方であれば、どなたでも入会できます。



年会費…1口1,000円
個人・団体会員 / 1口以上
事業者会員 / 2口以上

発行者：さがみはら生物多様性ネットワーク事務局
(相模原市水みどり環境課内)
住所：相模原市中央区中央2-11-15
電話：042-769-8242
Eメール：midori@city.sagamihara.kanagawa.jp